

2007 年度

片岡日本人最高位 監督初マラソン

北京国際マラソン (中国：北京)

片岡祐介

マラソン 2時間12分28秒 (6位)

片岡(大塚製薬)日本勢最高6位 男子



男子で日本人最高の6位、2時間12分28秒でゴールした大塚製薬の片岡(北京・オリンピック体育センター(毎日放送から))

**自己ベスト41秒更新 片岡**

日本人最高の6位に入った片岡のタイムは、2時間12分28秒。昨年2月の延岡西日本(4位)でマークした自己ベストを41秒上回り「自己ベストで入賞という公約を何とか果たせた。ここで結果を出して名を上げ、(来年の北京五輪の代表予選会となる)今冬のレースにつなげようと思っていたので、本心に良かった」と満足感に浸った。

入社4年目の28歳。昨年の北海道マラソン3位の実績を持つ。北京の路面の硬さは

**2時間12分28秒**

**公約果たし満足感**

「かなり厳しく、足にきた」と言う。20分すぎに先頭集団から遅れたが、「落ち着こう」と言い聞かせ、冷静さを失わなかった。徐々に巻き返し、渡辺真一(山陽特殊製鋼)ら日本勢の有力選手を抑えてゴールした。

6度目のマラソンだった。今年2月の東京マラソンは5分\*地点で脚を痛め途中棄権し、「一度は2時間10分を切りたい」と意気込んだ。

特別強化の必要性指摘

「参考にならない」と日本陸連の河野氏(大塚製薬)は「予想以上の担当は『軍用機の上で走る』が、北京郊外で大会の状況が別強化が必要と指摘し、比較にならない硬さがある。緊急される大気汚染の(北京、共同)

日本陸連男子マラソン部長 河野氏(大塚製薬) 五輪ロード完走

北京五輪のマラソン。日本陸連は昨年8月、説明する。2007年10月の世界ジュニア選手権で、北京五輪の6位に入った片岡祐介(大塚製薬)の不満は漏れなかった。21日の北京国際マラソンに、実地調査を兼ねて出場し、路面の硬さを痛感した。一季節も遅く、3時間7分38秒(非公認)でゴールした日本陸連の河野氏(大塚製薬)は「予想以上の担当は『軍用機の上で走る』が、北京郊外で大会の状況が別強化が必要と指摘し、比較にならない硬さがある。緊急される大気汚染の(北京、共同)

「参考にならない」と日本陸連の河野氏(大塚製薬)は「予想以上の担当は『軍用機の上で走る』が、北京郊外で大会の状況が別強化が必要と指摘し、比較にならない硬さがある。緊急される大気汚染の(北京、共同)